

原子力空母の配備を許すな

7・13 全国大集会 in 横須賀

首都東京の玄関口・横須賀基地に原子炉2基を持つ巨大空母ジョージ・ワシントン配備することは、世界に例をみない危険な計画です。しかも、火災事故を起こしたにもかかわらず、政府がまともな原因究明もしないまま、配備を認めようとしていることに強く抗議するため、7月13日、横須賀で全国から3万人を超える人々が集まり「原子力空母の配備を許すな、米軍基地の再編・強化反対」の大集会が開催されました。武蔵野・三鷹から40名の方がバスで参加、日本共産党武蔵野市議団の梶市議、橋本市議も参加しました。



米海軍横須賀基地を望む海に面した公園で抗議集会のあと、市内をデモ行進し、米軍基地ゲート前で抗議の声を繰り返しました。

原子力空母ジョージ・ワシントンは全長333メートル、乗員5680名、搭載機85機という巨大な動く原発です。横須賀配備は日本をアメリカの世界に向けた先制攻撃の一大拠点としていっそう強化するものです。本当に暑い暑い一日でしたが、全国との連帯を実感しました。

核兵器廃絶へ 国民平和大行進

核兵器廃絶を訴えて歩く平和行進は、1958年に始まり、ことし50周年を迎えました。北は北海道、南は九州・沖縄から8月の広島に向けて行進しています。

北海道―東京コースは17日、山梨県から東京都に引き継ぎ、24日上野公園の集結に向け行進しています。7月21日に、むさしの市民公園で、西東京市から引継いだ武蔵野原水協は、五日市街道、公園通りを通過して、井の頭公園西園まで行進し、三鷹に引き継ぎました。とても暑い日でしたが、原子爆弾の落ちた、64年前の夏も、暑い暑い夏だったのだろうと思いな

がら、戦争反対、子どもたちに平和な日本を！と願い、55名の方々が参加し、元気に行進しました。

邑上武蔵野市長からは、メッセージがとどきました。

なお、原水爆禁止2008年世界大会は、8月4日～6日広島で開催されます。武蔵野からは9名の代表が参加します。

日本共産党市議団からは、橋本しげき議員が参加します。

